

Mizuho Daily Market Report

2024/8/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	145.25	144.34	+0.16	▲8.43
EUR	1.0925	1.0931	▲0.0021	+0.0116
AUD	0.6498	0.6520	+0.0022	▲0.0018
SGD	1.3265	1.3254	+0.0002	▲0.0168
CNY	7.1463	7.1558	+0.0162	▲0.0852
MYR	4.4791	4.4748	+0.0476	▲0.1469
THB	35.46	35.53	+0.30	▲0.45
IDR	16165	16165	▲20	▲135
PHP	57.82	57.83	▲0.07	▲0.82
INR	83.94	83.96	+0.11	+0.23
VND	25132	25135	+34	▲149

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.892%	+10.4 bp	▲24.8 bp
日本(10年)	0.901%	+10.9 bp	▲10.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.201%	+1.0 bp	▲13.9 bp
オーストラリア(5年)	3.675%	▲3.3 bp	▲31.4 bp
シンガポール(5年)	2.671%	+8.9 bp	▲21.3 bp
中国(5年)	1.847%	+0.7 bp	▲3.7 bp
マレーシア(5年)	3.485%	+4.3 bp	▲5.9 bp
タイ(5年)	2.278%	+1.3 bp	▲8.8 bp
インドネシア(5年)	6.676%	+1.6 bp	▲7.5 bp
フィリピン(5年)	6.023%	+7.7 bp	▲2.2 bp
インド(5年)	6.817%	+0.7 bp	▲3.5 bp
ベトナム(5年)	2.090%	▲2.0 bp	▲2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,997.66	+0.8%	▲4.3%
N225(日本)	34,675.46	+10.2%	▲10.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,575.22	+0.1%	▲5.5%
ASX(オーストラリア)	4,390.77	+0.3%	▲3.3%
FTSTI(シンガポール)	3,198.44	▲1.4%	▲7.1%
SSEC(中国)	2,867.28	+0.2%	▲0.4%
SENSEX(インド)	78,593.07	▲0.2%	▲3.5%
JKSE(インドネシア)	7,129.22	+1.0%	▲1.6%
KLSE(マレーシア)	1,574.39	+2.5%	▲2.3%
PSE(フィリピン)	6,433.24	▲0.0%	▲2.6%
SETI(タイ)	1,274.01	▲0.1%	▲2.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,210.28	+1.9%	▲2.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.15	+0.5%	▲1.7%
金	2,390.82	▲0.8%	▲0.8%
原油(WTI)	73.20	+0.4%	▲2.0%
銅	8,804.02	+0.4%	▲0.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	146.80
EUR/USD	1.0850	—	1.0990
AUD/USD	0.6385	—	0.6580
USD/SGD	1.3160	—	1.3380
USD/CNY	7.1260	—	7.1790
USD/INR	4.4300	—	4.5030
USD/THB	35.00	—	36.65
USD/IDR	16000	—	16350
USD/PHP	57.40	—	58.70
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台後半でオープン。前日の米経済指標の結果を受けた株式市場の反発もあり、序盤は買戻し優勢の中、オープン後ほどなくして146円台前半まで値を上げる。ただ東京仲値にかけて下落した流れから144円台前半まで値を下げるなど、神経質な展開が続く。3者会合のヘッドラインなどに反応して値幅が出ながらも方向感なく推移。結局オープンと同水準の145円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に下落。ドルがアジア取引時間に反発したことが背景。特にマレーシアリングの下げが目立ち、前日比1%安となった。

NY時間のドル円は145円台前半でオープン。注目の米経済指標の結果発表が少ない中、朝方は144円近辺まで値を下げる場面もあったが、その後は低下していた米金利が上昇する展開に買戻しが優勢となり、145円台前半まで戻す神経質な値動き。午後に発表された堅調な米3年債の入札結果を受け、米金利が低下する展開がドル円の上値を抑え、終盤にかけては144円台前半まで下落しクローズ。

【金利】

昨日の米金利は上昇。米景気減速懸念がやや過度に織り込まれ過ぎているとの見方が広がったことや、株式市場が回復したことも相俟って米金利上昇となった。米国債利回りは前日比+10.4bpでクローズ。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。米国においては先週末の米7月雇用統計を受け一段と利下げ期待が強まったものの、足元の米景気減速懸念に対して行き過ぎとの見方もあり昨日はドルが持ち直した。本日は特段重要な経済指標の発表は予定されていないが、米経済に対する強弱入り混じる思惑から相場が上下動する可能性に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 6月 景気動向指数(速)
(アジア) 2Q NZ 雇用統計
(アジア) 6月 フィリピン 失業率
(アジア) 6月 韓国 国際収支
(アジア) 7月 インドネシア 外貨準備高
(アジア) 7月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 7月 タイ 消費者景気信頼感
(アジア) 7月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 7月 中国 外貨準備高
(アジア) 7月 中国 貿易収支
(欧州) 6月 仏 経常収支
(欧州) 6月 独 貿易収支
(欧州) 7月 スイス 外貨準備高
(欧州) 独 国債入札(15Y)
(米国) 6月 消費者信用残高
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。